

さめうら
「早明浦ダム再生事業」の新規事業採択時評価結果及び概算要求について
～水資源機構における初のダム再生事業～

さめうら
早明浦ダム再生事業に関して、本日（8月29日）、国土交通省において平成30年度予算に係るダム事業の新規事業採択時評価の評価結果が公表されるとともに、平成30年度予算の概算要求をすることになりました。
今後、必要な手続きを進めていきます。
なお、本事業は独立行政法人水資源機構が実施する初のダム再生事業となります。

（参考）

○新規事業採択時評価結果（国土交通省ウェブサイト）

http://www.mlit.go.jp/river/basic_info/seisaku_hyouka/gaiyou/hyouka/h29.html

○国土交通省関係 平成30年度予算の概算要求（国土交通省ウェブサイト）

<http://www.mlit.go.jp/policy/file000004.html>

平成29年8月29日



独立行政法人 水資源機構

発表記者クラブ

国土交通記者会

水資源記者クラブ

高松経済記者クラブ

問い合わせ先

独立行政法人 水資源機構 総務部広報課 河合、石山

住 所：埼玉県さいたま市中央区新都心11-2

電 話：048（600）6513

早明浦ダム再生事業の概要

事業箇所 高知県ながおか長岡郡本山町（左岸）、同県とさ土佐郡土佐町（右岸）

目 的

○洪水調節 容量振替及び予備放流方式の導入により、現況の洪水調節容量を9,000万 m^3 から10,700万 m^3 に増大させるとともに、洪水時の放流能力増強のため、放流設備の増設等を行うことにより、治水機能の向上を図る。

※容量振替は、現状の利水安全度を確保しつつ、不特定補給の運用を見直すことにより容量を確保することをいう。

※予備放流方式は、洪水が予想された時点で、あらかじめ放流を行うことで貯水位を下げ、洪水調節容量を洪水調節計画において確保することをいう。

諸 元

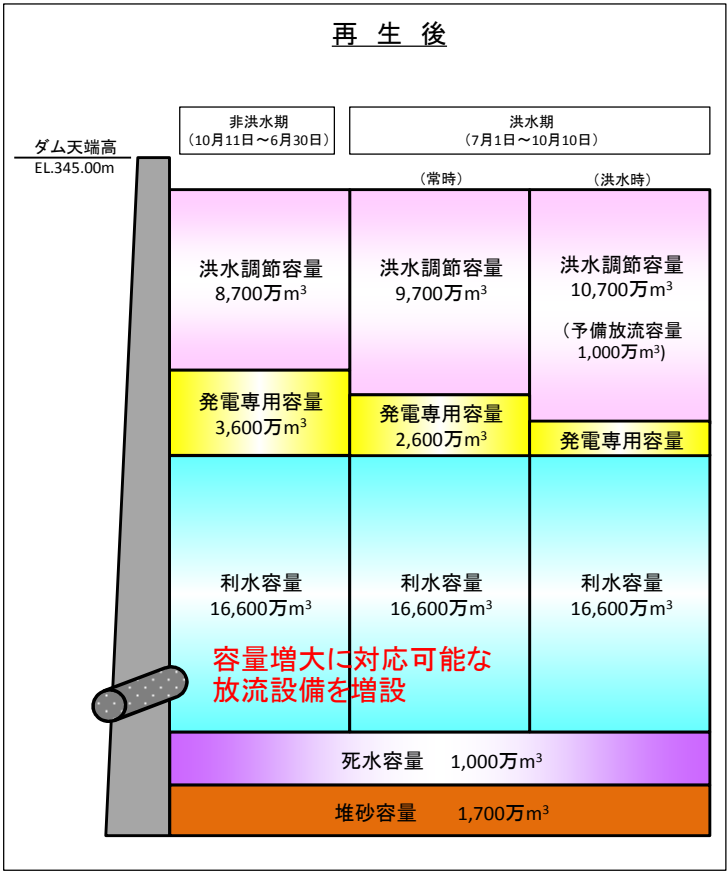
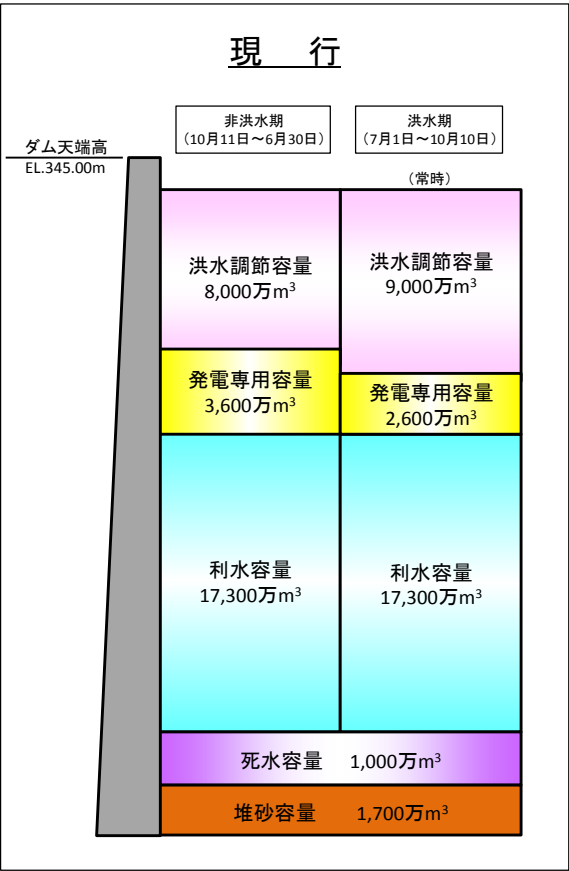
形式 : 重力式コンクリートダム
ダム高 : 106m
堤頂長 : 400m
総貯水容量 : 31,600万 m^3
有効貯水容量 : 28,900万 m^3
集水面積 : 472 km^2
(あせみ汗見川取水55 km^2 含む)

総事業費 約400億円

位置図



貯水池容量配分図



放流設備増設イメージ

